

みんなが笑顔になる方向へ心のハンドルをきり、ブレーキを踏める温小っ子に！

昨日の全校朝会で、以下の話をしました。

何のために学校で勉強をしているのでしょうか。「こんな人になりたいから」「こんな勉強をしたいから」「友達と一緒に、楽しくこんなことをしたいから」など、160人いれば160通りの思いがあるでしょう。それらを大きく分けると、「賢い頭づくり」「温かく豊かな心づくり」「元気で健康な体づくり」（知徳体）の3つに集約されます。

この「頭」「心」「体」は、自動車で言えば、何にあたるのでしょうか。

体…ボディー（車体）

頭…エンジン（活動する基盤としての言葉の力や、思考力・判断力・表現力）

心…ハンドルとブレーキ（人が笑顔になる方向、正しい方向へ行動を決定するハンドル。人を悲しませる方向、悪い方向へは、ストップするブレーキ）

「頭」「心」「体」の3つは、とても大切です。どれも極めて大切ですが、最も大切なものを1つ選ぶとすれば、それは「心」です。

いくら頑丈なボディー（体）を持ち、何百馬力という立派なエンジン（頭）を積んでいても、人を悲しませる方向へハンドル（心）を切ったり、悪いことに対するブレーキ（心）がきかなかったりすれば、頭と体の意味がありません。

反対に、たとえ人より頑丈なボディー（体）でなくても、小さなエンジン（頭）でも、正しくハンドル（心）を切り、人を悲しませる方向、悪い方向にはブレーキ（心）をかけながら進んでいけば、人も自分も笑顔の場所へ行くことができます。そして、自分の目標を達成することができます。

12月4日～10日まで、第70回人権週間です。（世界人権宣言70周年）

『みんなで築こう 人権の世紀』

～考えよう 相手の気持ち 未来につなげよう 違いを認め合う心～

「人権」とは、人間がすべて生まれながらにもっているもの（権利）で、

「幸せになるために、誰もが大切にされなければいけない」ということです。

もちろん1年365日、人権は大切にされなければいけません。人権週間は人権尊重の精神を高める諸行事が行われ、人権を大切にすることを特に心がけて生活しましょうという期間です。人も自分も笑顔になる方向へ、ハンドルをきり、ブレーキを踏める温小っ子になってください。



職員が皆授業に出ており、出張で担任不在の学級へ、私が自習の監督に入っていた時のことです。5校時が終わり、帰りの会が始まろうとしていた時、

「そんな言い方をしたらいけん！」という毅然とした声が聞こえました。良くない言い方が聞こえたのでしょうか。その言い方にブレーキ（心）をかけ、学級に悲しむ友達をつくらないように見事にハンドル（心）をきった瞬間でした。

また、校長室から運動場を見ていると、昼休みが終わり、一人でいる友達にかけ寄っている児童がいました。その友達を勇気づけ、笑顔になるようにハンドル（心）をきっている場面でした。その様子を見て、心温まる思いがしました。

温泉小学校は以前から結露が多く、一昨日は湿気が水滴となり、廊下がベトベトに濡れるほどでした。滑ってこける児童もいました。すると昨日の業間、体育委員の放送が流れ、校舎内で安全に過ごすように呼びかけていました。全校生が校舎内で安全に過ごせるよう、ハンドル（心）をきっている場面でした。

人も自分も笑顔になる方向へ、ハンドルをきり、ブレーキを踏める心豊かな温小っ子の育成に向け、道徳教育、人権教育をはじめ、教育活動全体で考える場面を多く設定し、できたことを認め合い、高め合う集団づくりに努めます。ご家庭におかれましても、声かけ等、していただければ幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。